

「在学当時の思い出」(抜粋) 梅田湧俊

昭和14年 錦水尋常小学校にラジオが入った頃の思い出

「錦水小学校50周年史」掲載

(略) 小学2年の10月、新築された錦水尋常小学校へ移り、その後6年数ヶ月を錦水小学校にお世話になりました。

\*注：昭和11年12月26日、岐阜・鐘沸尋常小学校が統合し、錦水尋常小学校と改称  
(3学級編成)

(略) 確か4年生(注：昭和14年)の頃と思いますが、学校に心待ちにしていたラジオが入りました。当時は電灯線など来ておりませんので、当然電池式でしたが、かなり高価な品と聞いておりました。私たちは見たことも聞いたこともないので、見たい聞きたい一心で職員室の前をウロウロしたことがありましたが、このラジオは遂に昼間は入らずにしまいました。夕方になると小さな音が、それも時折入る程度であったと聞いております。残念な思い出です。

5年生頃から授業の他に夏の間は援農の作業がありました。一家の働き手の男性が召集された家庭の刈り物が主でしたが、教室の授業は2〜3時間、それから夕方近くまで手伝いましたが、時にはトウキビやカボチャのおやつをいただき、木陰に入って皆で食べたことなどは懐かしい思い出の一つです。(略)

\*注：「岐阜百年記念誌」「岐阜部落開基80周年記念誌」には、ラジオに関する記録として  
左記記述あり

昭和2年 蓄電池式ラジオ購入する人達出始める

昭和3年 NHK札幌放送局設置。高橋登・久世甚九郎らが電池式ラジオ購入。夜間のみ聴取可、国技館の相撲が手に取るように分かると喜び。